

二本松実業高等学校生徒との座談会

主催：(一社)福島県建設業協会

福島県建設業協会では、建設関係学科に進学した生徒を対象に、将来の建設業界への就職に備え、進路希望者の不安解消や理解の増進を図ることにより、雇用のミスマッチの解消や建設業への進路選択者を増加させることを目的に、生徒との座談会を開催しております。

二本松実業高等学校では、都市システム科2年生と座談会を行い、座学としてICT活用の現状と課題や働き方改革の現状などを学びました。また、地元建設企業等の方をアドバイザーとして招き、建設業の仕事のやりがいや魅力などを講話いただき、生徒が抱える建設業への就職に対する不安や疑問について意見交換を行いました。

- <日 時> 令和8年2月24日(火) 9:45~11:45
<場 所> 福島県立二本松実業高等学校 製図書(二本松市榎戸)
<対象学年> 都市システム科 2年生 35名
<コーディネーター> 都市システム科 ご担当教諭5名
<アドバイザー> 地元建設企業2社(菅野建設工業(株)、石橋建設工業(株))
(一社)福島県建設業協会

座学1「人材育成の取組みについて」

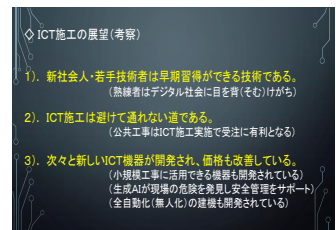
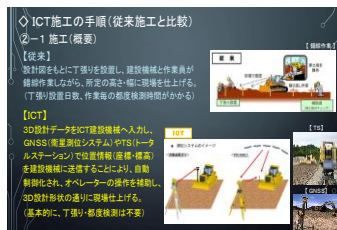
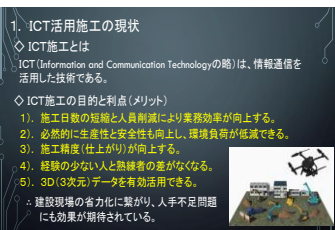
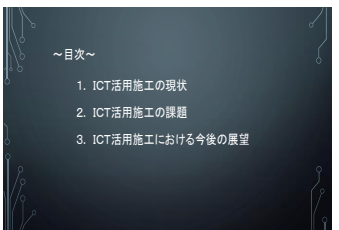
講師：(一社)福島県建設業協会 業務課長 木田文昭



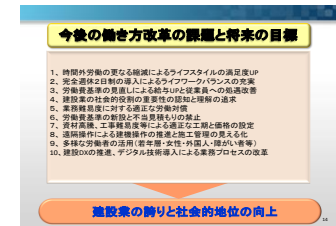
終わりに
建設業は、地域の安全・安心を守るエッセンシャルワーカーとして、働きやすい職場環境の整備にも取り組みながら、未来に夢と希望をつないでまいります。

座学2「建設業への就職に向けて」

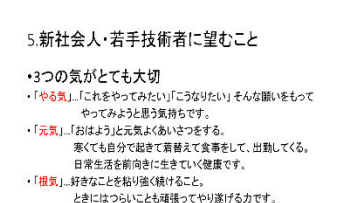
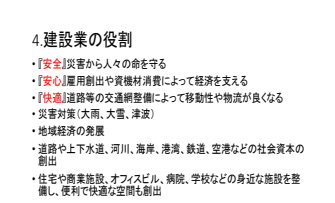
① ICT活用の現状と課題、今後の展望... 講師：菅野建設工業(株) 営業本部管理部長 成田龍一さん



② 働き方改革の現状... 講師：菅野建設工業(株) 取締役副社長 山川博徳さん



③ 建設業担う若手技術者に望むこと... 講師：石橋建設工業(株) 土木部長 渡邊政宏さん



座談会「意見交換」

事前に行った就職意向調査の集計結果を基に、生徒が就職する上で特に興味・関心を持っている項目に対して、建設業の現状をお伝えし、意見交換を行いました。主な意見は次のとおり。

Q1 給料が高いイメージは本当か

A1 福島県の建設業の高校卒業の初任給は基本給で約19～20万円。2級土木施工管理技士補を取得すると、毎月の給与へ手当がつく企業も多い。

Q2 休みが少ないイメージは本当か

A2 有給休暇を除いて年間108～110日程度の休日が確保されており、年末年始、お盆の時期は休みになる。週休2日の発注条件で国や県と工事を契約している。繁忙期はあるが、休日数は確実に増えている。

ワークショップ「建設業イメージアップのためのキャッチコピー作成」

A班：「土木それはハイリターン」（給料が高く、休日数が増え、働きやすい環境に変わってきていること）

B班：「建設業と明るい未来へ」（私たちの安全安心なインフラを守る建設業の魅力を発信したい）

C班：「建設女子也大歓迎！若者不足の今、主役はあなた」（男性社会の建設業に女性を増やしたい思いと将来を担う私たち生徒が主役だという思いから作成）

D班：「誰かの日常をつくりませんか」（私たちの暮らしを守る建設業の魅力をわかりやすく端的にPRするため）

E班：「まちの未来が今、ここにある」（学んでいる専門分野が地域未来に役立てることから）

<座談会・ワークショップの様子>



<生徒からの感想>

- ・給料や休みが増え、新たな4Kに変わってきていることがわかった。
- ・建設業は、住民の方々と直接顔を合わせる機会が多く、インフラを整備することによって感謝の言葉をいただくことがあり、地域と身近なところが魅力的に感じた。
- ・休日数や残業など、具体的な働き方について知ることができたので、就職への不安が払拭できた。

<佐藤科長からの講評>

建設業も他の産業に後れをとることなく、若手の初任給増額やDX、ICT、週休2日制度など、働き方改革が確実に進んでいることを実感できたと思う。生徒は、今抱えている不安を期待と希望に変えて建設産業で活躍してほしいと思う。また、今日の講義やディスカッションを踏まえて作ったキャッチコピーは、建設産業や本校の今ある正しい姿や近い未来に実現ができそうな未来像を地域の方々に発信できるものとなったと思う。

